



だて秋の大収穫祭 大盛況！



サケのつかみ取り
「どのサケを捕まえようかな？」



食のフェスティバルでは多くの行列ができました

だての元気な「食」を楽しむ「だて秋の大収穫祭」。9月22日・23日に行われた「だて食のフェスティバル」では、市内外から28店舗が勢揃い。

北海道の『うまい』を求めて2万人が来場し、地元ではなかなか味わえない道内の名物グルメを堪能しました。

収穫祭の最後を締めくくるのは、10月14日に行われた「2012農業・漁業まつり」。秋サケや野菜の即売会は多くの人でにぎわい、毎年大好評のサケのつかみ取りには、小学生以下の子供たちが参加。元気よく泳ぐサケを捕まえようと奮闘する子供たちへの声援が、晴れ渡った秋空に響いていました。

「こんにちは、お元気ですか？」 ～認知症高齢者等徘徊模擬訓練～

もしも認知症高齢者などが行方不明になったら、あなたはどうしますか？そんな時、いち早く行方不明者を発見する方法の理解を深めるため、9月20日、認知症高齢者等徘徊模擬訓練が行われました。

認知症高齢者への接し方の注意点を学んだ後、2人が行方不明になった想定で、それぞれの服装の特徴などを基に参加者170名がカルチャーセンター周辺を搜索。ようやく発見した認知症高齢者（役）に近づき「声掛け」を実践しました。



「帽子をかぶり傘を持っている」という情報から行方不明者を発見

父・美一さん（右から2人目）らと一緒に来庁した浅利さん（同4人目）



伊達市出身の浅利昌哉さん インターハイ柔道競技大会60kg級で準優勝

8月に富山県で開催された「全国高校総体（インターハイ）柔道競技大会」で、伊達市出身・現在東海大学付属第四高校2年生の浅利昌哉さんが60kg級で準優勝の成績を収めました。小学校1年生から伊達柔道スポーツ少年団で柔道を始め、小学校高学年では全道トップレベルに成長し、全道大会連続3位。卒業後は中学校へ進学し力をつけてきました。

9月19日に市長を訪問した浅利さんは、「努力の成果を出せたが悔しい気持ちも。来年は優勝したいです」と気持ちを新たにしていました。

『いぶこん』グルメフェスタ in伊達

市内で飲食店が多く立ち並び繁華街「錦町」。この一角に一晩限りの歩行者天国が登場し、街のにぎわいに華を添えました。

10月13日、この歩行者天国で『いぶこん』グルメフェスタ in 伊達が開催され、多くの出会いや仲間を求める若者が集結しました。

グルメフェスタのテント横では、市内の小・中学生中心のダンスグループ「Doc's」の路上パフォーマンスが行われ、夜の街が一気に盛り上がりました。



一晩限りの歩行者天国は大にぎわいでした


紙芝居に聞き入る児童たち



伊達小学校 「ふるさとふれあいイベント」

10月6日、伊達小学校で「ふるさとふれあいイベント」が行われました。同校では地域の方とふれあい、授業では体験できない活動で心を豊かにすることを目的に、地域の「ふるさと先生」が講師になり、年に数回のイベントを開催しています。

3回目の今回は、菅原栄子さんら5名による「お話し会」。さまざまな民話や童話を語りかけるふるさと先生が作り出す独特の世界に児童たちは引き込まれ、お話の世界を楽しんでいました。



「まさか」の事態に備えましょう 津波避難訓練

10月15日、西浜町と館山下町の住民の一部を対象に、津波を想定した避難訓練が行われました。

昨年の東日本大震災で多くの尊い命が犠牲になった要因「津波」。

今回の避難訓練は、実際の避難先に想定される高台、館山町の市研修センター（旧青年の家）までの経路を3コースに分け、徒歩避難での所要時間や問題点などを浮き彫りにすることが目的で、約1時間かけて参加者が目的地に到達しました。

市では現在、1,000年に一度起きるとされる過去最大級の津波が北海道沿岸に到達することを想定した「津波ハザードマップ」を作成中で、今年12月頃に市民の皆さんに配布する予定です。



高台を目指し坂道を登る参加者



避難終了後、市長があいさつ
「今日の訓練で得た危機感を忘れずに」